

平成26年度 泉区区民意識調査

調査結果報告書

(概要版)

平成26年10月

横浜市泉区

目 次

調査概要	2
回答者の属性	3
生活環境全般について	6
定住意向について	11
日常の交通行動について	12
日頃の買い物行動について	13
地域での支え合いについて	15
健康づくりについて	17
高齢者福祉・障がい者福祉について	18
子育て支援について	19
青少年の育成について	20
防災の取組について	21
広報・広聴について	22
泉区政について	24

調査概要

- ◆調査対象：泉区内在住の20歳以上の男女3,000人
- ◆抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
- ◆調査方法：郵送によるアンケート形式
- ◆調査期間：平成26年8月1日～8月18日
- ◆回収数：1,588通（回収率52.9%）

◆集計結果の見方

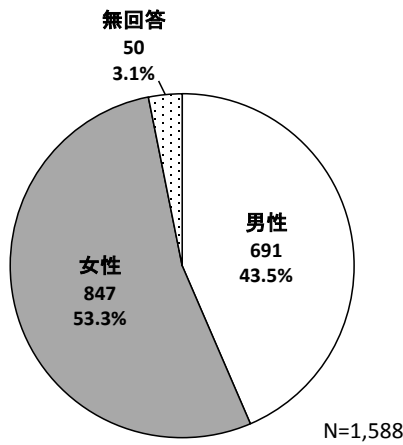
- ① 図（グラフ）の中で使用されているアルファベットNは、その設問に対する回答者数をあらわす。
- ② 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。

※概要数値の見方

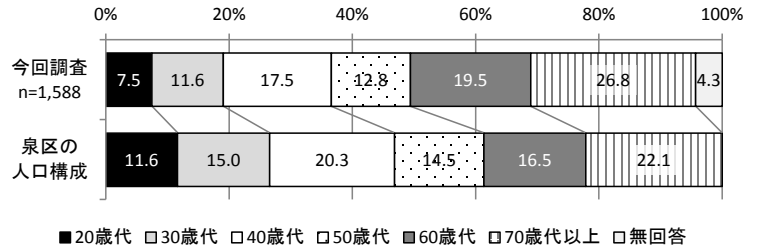
数値はそれぞれ割合（%）を表示。基数の記述があるもの以外は有効回収数を基本としている（N=1,588）。

回答者の属性

F1 性別(○は1つ)



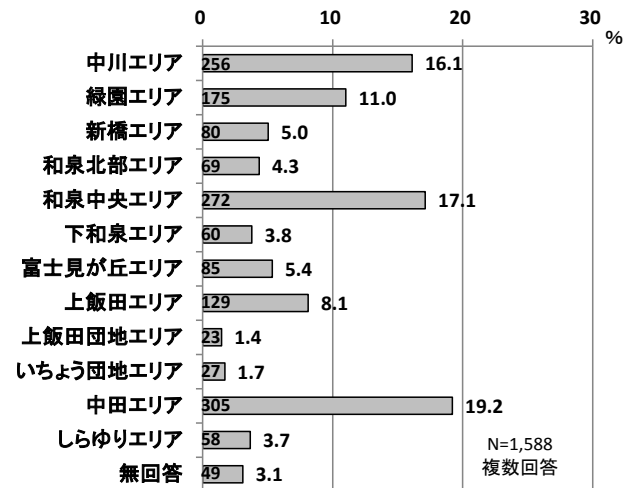
F2 年齢(○は1つ)



出所) 横浜市ポータルサイト 横浜市・各区分別 年齢別男女別人口 (住民基本台帳)

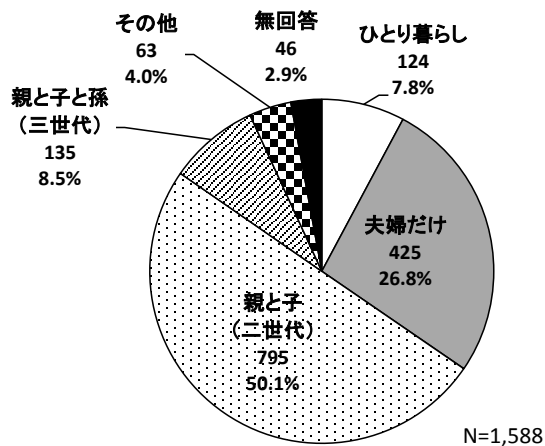
注) 泉区人口は平成26年9月30日現在
20歳以上人口を抽出 (127,651人)

F3 居住地区(○は1つ)

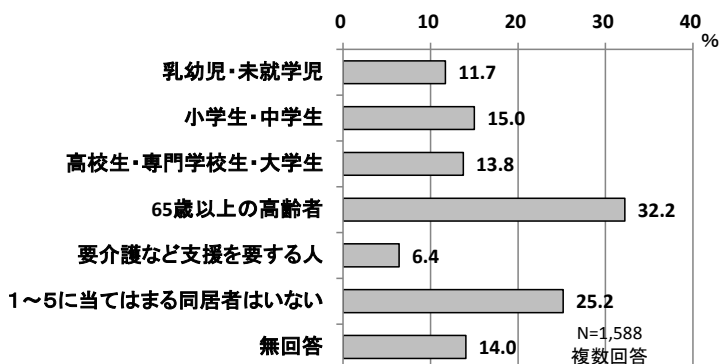


エリア名	町名
中川エリア	岡津町1～2000番、岡津町2001番～、桂坂、西が岡一丁目、西が岡二丁目、西が岡三丁目、弥生台、領家一丁目、領家二丁目、領家三丁目、領家四丁目
緑園エリア	緑園一丁目、緑園二丁目、緑園三丁目、緑園四丁目、緑園五丁目、緑園六丁目、緑園七丁目
新橋エリア	新橋町
和泉北部エリア	和泉町6001番～
和泉中央エリア	和泉町2001～4000番、和泉町4001～6000番
下和泉エリア	和泉が丘一丁目、和泉が丘二丁目、和泉が丘三丁目、下和泉四丁目、下和泉五丁目
富士見が丘エリア	和泉町1～2000番、下飯田町、下和泉一丁目、下和泉二丁目、下和泉三丁目
上飯田エリア	上飯田町1～2000番、上飯田町2001～4000番、上飯田町4001番～
上飯田団地エリア	上飯田1～2000のうち、居住形態が「賃貸物件(県営・市営)」
いちよう団地エリア	上飯田2001～4000のうち、居住形態が「賃貸物件(県営・市営)」
中田エリア	中田町、中田北一丁目、中田北二丁目、中田北三丁目、中田西一丁目、中田西二丁目、中田西三丁目、中田西四丁目、中田東一丁目、中田東三丁目、中田東四丁目、中田南一丁目、中田南二丁目、中田南三丁目、中田南四丁目、中田南五丁目
しらゆりエリア	白百合一丁目、白百合二丁目、白百合三丁目、中田東二丁目

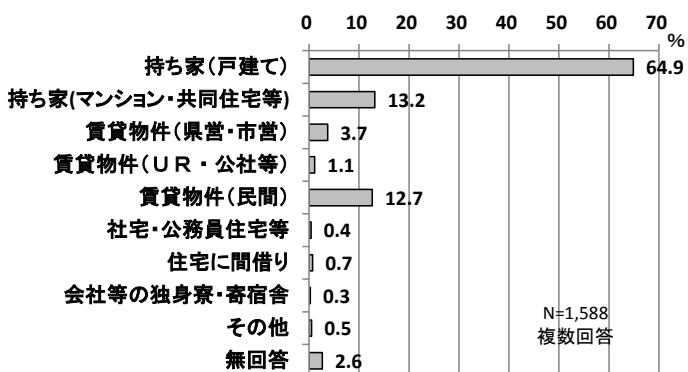
F4 家族構成(○は1つ)



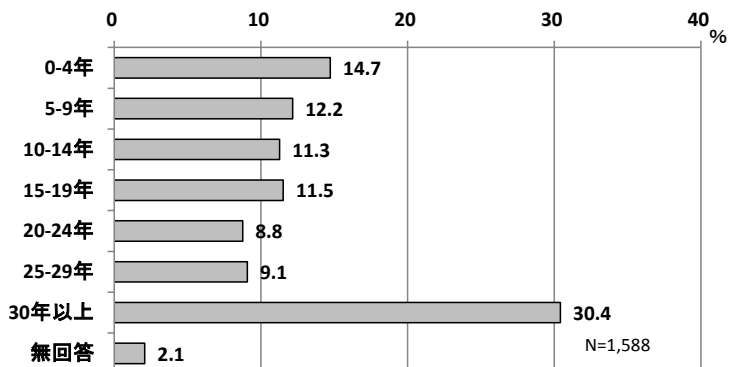
F5 乳幼児・未就学児、学童・学生、
高齢者、要介護者の有無(○はいくつでも)



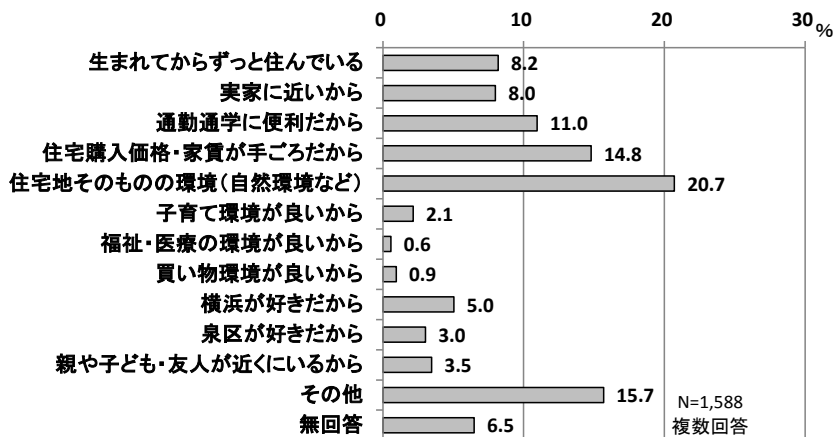
F6 居住形態(○は1つ)



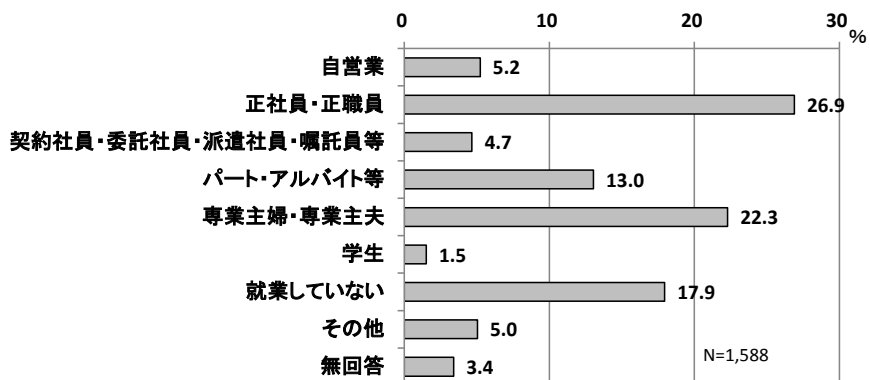
F7 居住年数(○は1つ)



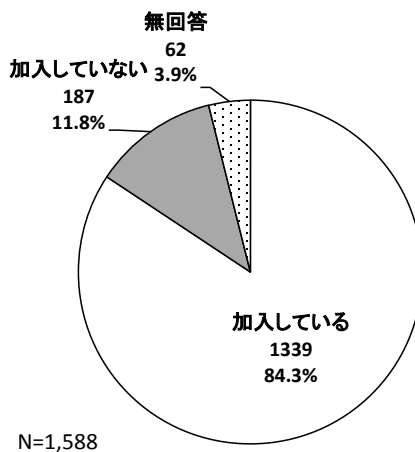
F8 現在の住まいを選んだ理由



F9 就労状況(○は1つ)



F10 自治会町内会への加入状況(○は1つ)

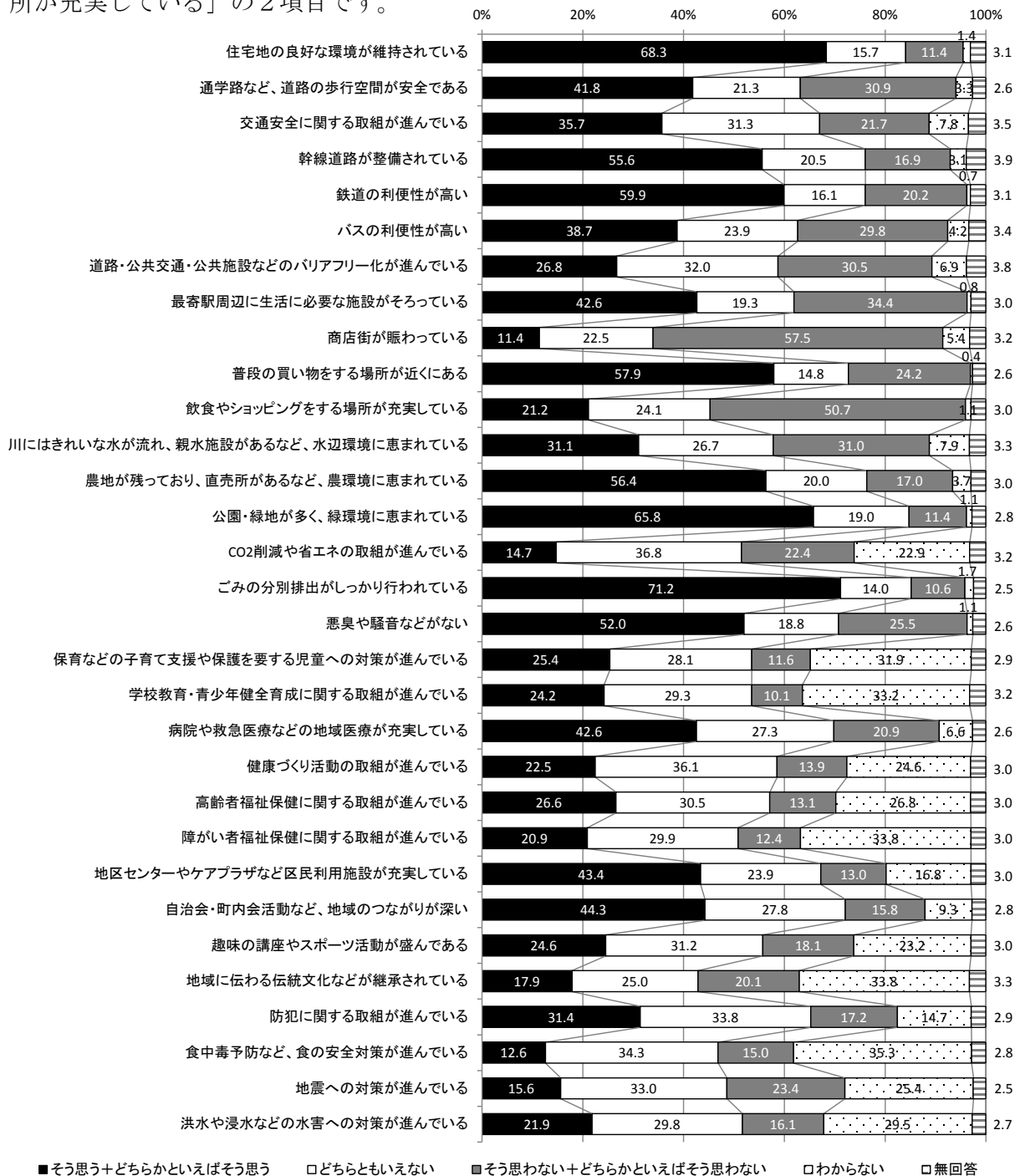


生活環境全般について

肯定感の上位5項目は「ごみの分別排出がしっかり行われている」、「住宅地の良好な環境が維持されている」、「公園・緑地が多く、緑環境に恵まれている」、「鉄道の利便性が高い」、「普段の買い物をする場所が近くにある」

お住まいの地域について

- ・「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定感」が最も多かった項目は、「ごみの分別排出がしっかり行われている」、「住宅地の良好な環境が維持されている」、「公園・緑地が多く、緑環境に恵まれている」、「鉄道の利便性が高い」、「普段の買い物をする場所が近くにある」が上位5項目、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた「否定感」が最も多かったのは「商店街が賑わっている」、「飲食やショッピングをする場所が充実している」の2項目です。

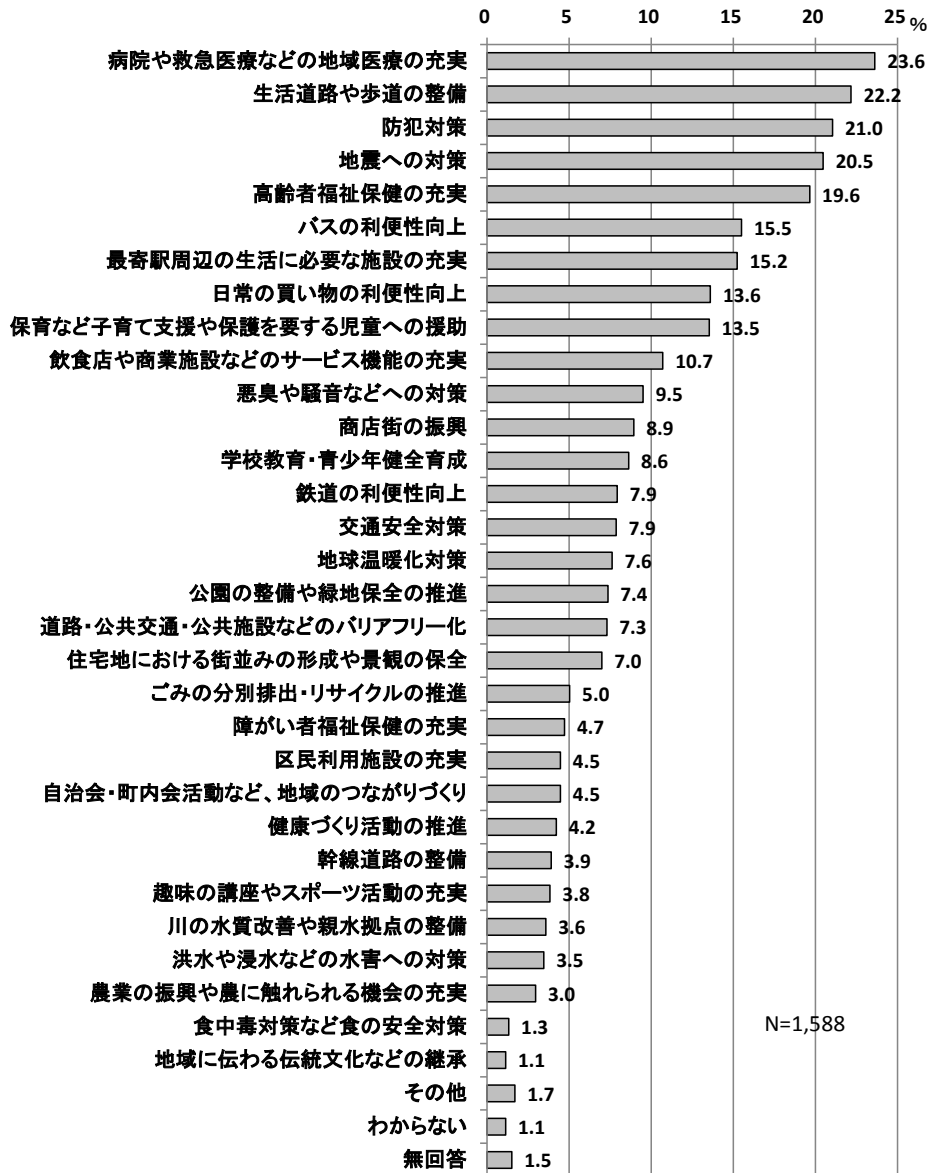


今後特に力を入れて進めていくべきことは「病院や救急医療などの地域医療の充実」が最も多い。心配ごとで最も多いのは「自分の病気や老後のこと」

今後特に力を入れて進めて

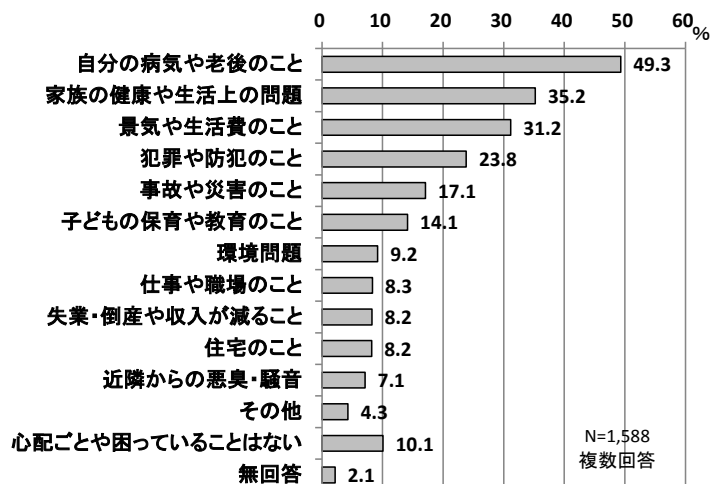
いくべきこと

- ・「病院や救急医療などの地域医療の充実」が最も多くなっています。続いて「生活道路や歩道の整備」、「防犯対策」、「地震への対策」を2割以上が挙げています。



心配ごとや困っていること

- ・「自分の病気や老後のこと」が最も多く、半数近い人が挙げています。次いで「家族の健康や生活上の問題」、「景気や生活費のこと」が3割以上です。

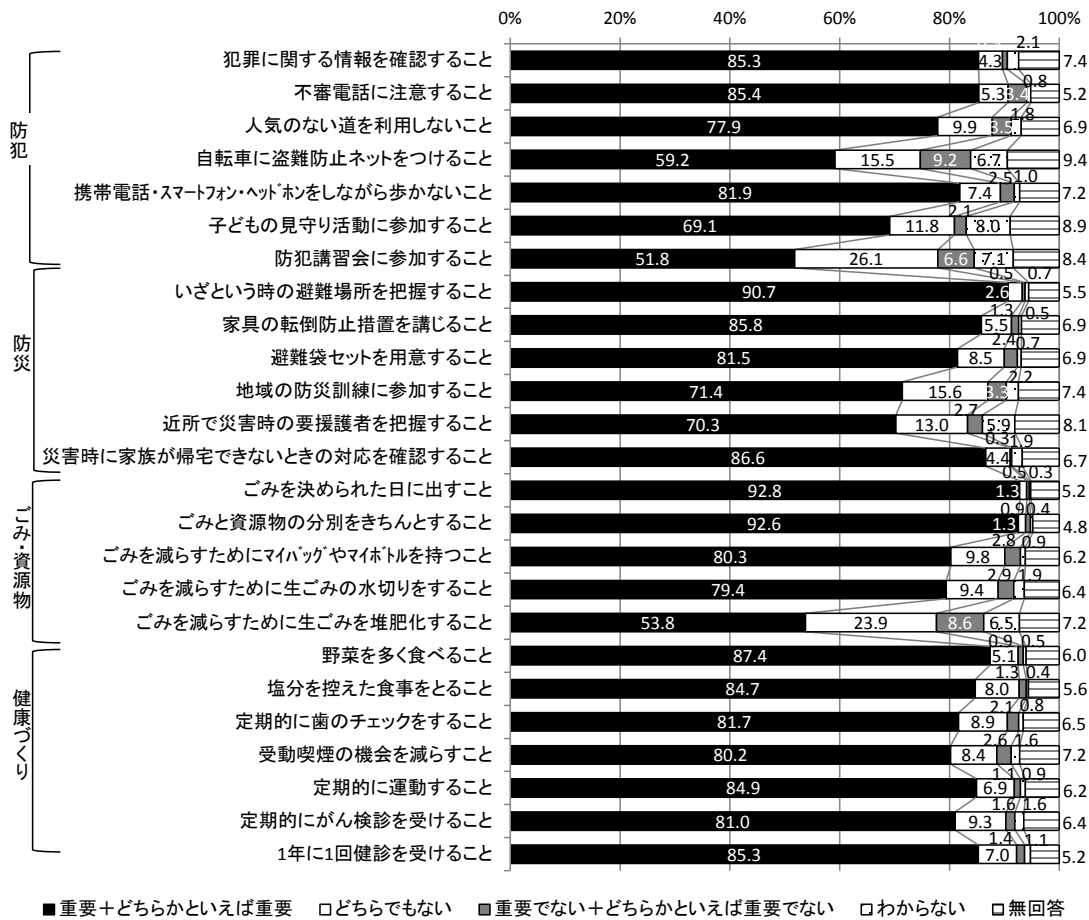


重要度の上位5項目は、「ごみを決められた日に出すこと」、「ごみと資源物の分別をきちんとすること」、「いざという時の避難場所を把握すること」、「野菜を多く食べること」、「災害時に家族が帰宅できないときの対応を確認すること」

各取組の重要度、実践度

<重要度>

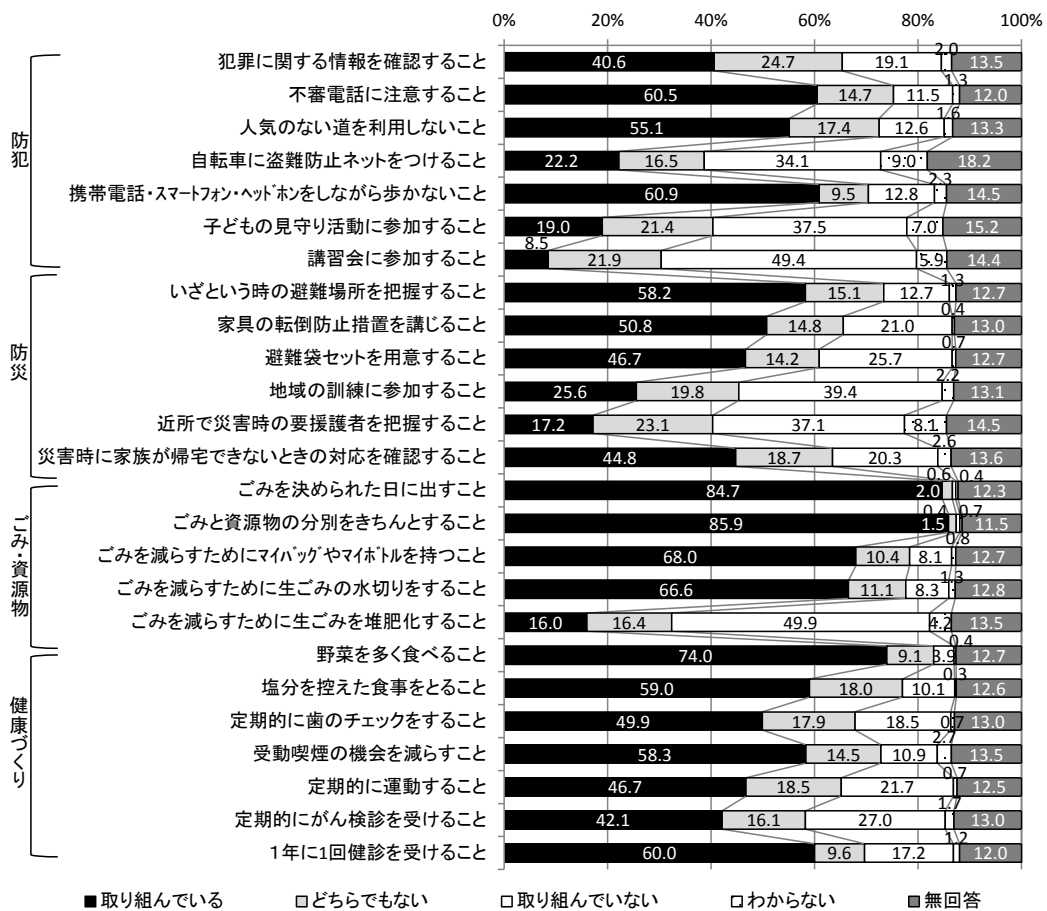
- ・「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせて「重要度」をみると、最も重要度が高いのは「ごみ・資源物」カテゴリの「ごみを決められた日に出すこと」、僅差で「ごみと資源物の分別をきちんとすること」です。以下「いざという時の避難場所を把握すること」（防災）、「野菜を多く食べること」（健康づくり）、「災害時に家族が帰宅できないときの対応を確認すること」（防災）が上位5項目となっています。



実践度の上位5項目は、「ごみと資源物の分別をきちんとすること」、「ごみを決められた日に出すこと」、「野菜を多く食べること」、「ごみを減らすためにマイバッグやマイボトルを持つこと」、「ごみを減らすために生ごみの水切りをすること」

<実践度>

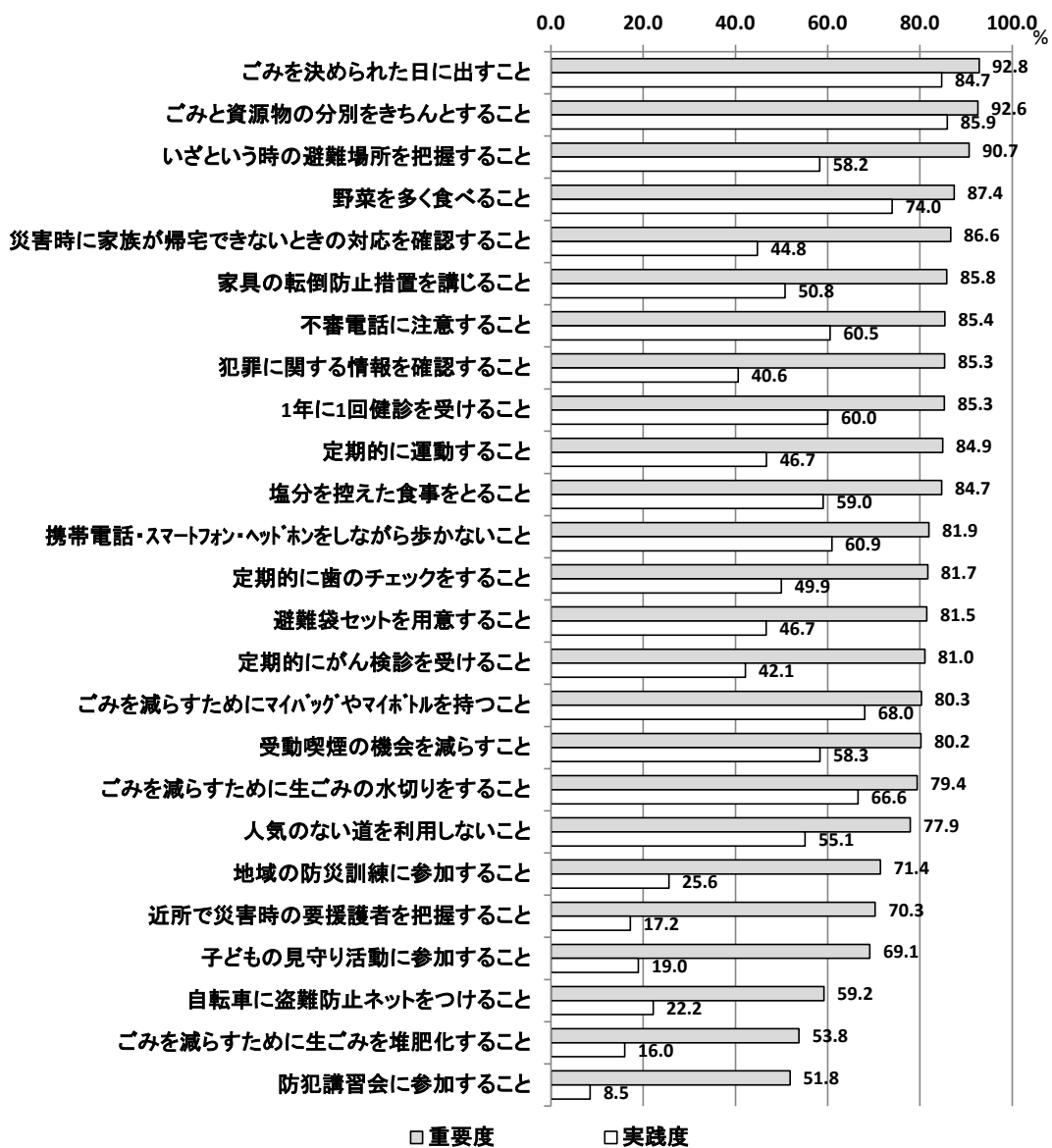
- ・「積極的に取り組んでいる」と「比較的取り組んでいる」を合わせて「実践度」をみると、最も実践度が高いのは「ごみ・資源物」カテゴリの「ごみと資源物の分別をきちんとすること」、次いで「ごみを決められた日に出すこと」（ごみ・資源物）、「野菜を多く食べること」（健康づくり）、「ごみを減らすためにマイバッグやマイボトルを持つこと」（ごみ・資源物）、「ごみを減らすために生ごみの水切りをすること」（ごみ・資源物）が上位5項目となっています。



重要度と実践度を比較すると、上位2項目では同傾向だが、防災に関わる項目では重要度が高いのに対して実践度が低い傾向

<重要度と実践度の比較>

・「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた「重要度」と、「積極的に取り組んでいる」と「比較的取り組んでいる」を合わせた「実践度」をみると、重要度1位の「ごみを決められた日に出すこと」は実践度では2位、重要度2位の「ごみと資源物の分別をきちんとすること」は実践度1位で、上位2項目では同傾向ですが、重要度3位の「いざという時の避難場所を把握すること」は実践度11位、重要度5位の「災害時に家族が帰宅できないときの対応を確認すること」は実践度17位、重要度6位の「家具の転倒防止措置を講じること」は実践度13位となっており、防災に関わる項目は重要度が高いのに対して実践度が低くなっている傾向にあります。

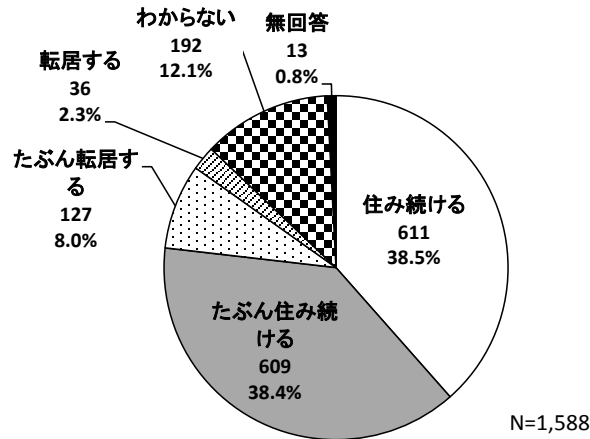


定住意向について

定住意向があるのは全体の4分の3以上、転居理由は「通勤・通学のため」が3割弱

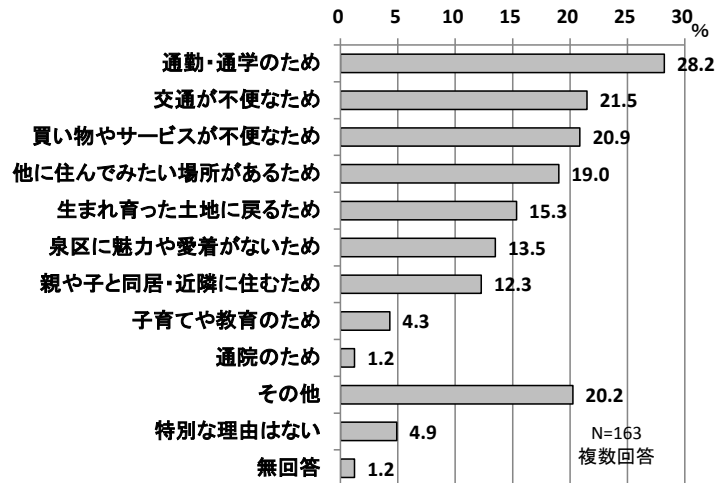
泉区での定住意向

- ・「住み続ける」「たぶん住み続ける」が4割弱でほぼ同率となっており、これらを合わせると、全体の4分の3以上の人に定住意向があります。



転居する・たぶん転居する理由

- ・「通勤・通学のため」が最も多く、3割弱の人が挙げています。次いで「交通が不便なため」、「買い物やサービスが不便なため」を2割強の人が挙げており、利便性の低さが指摘されています。

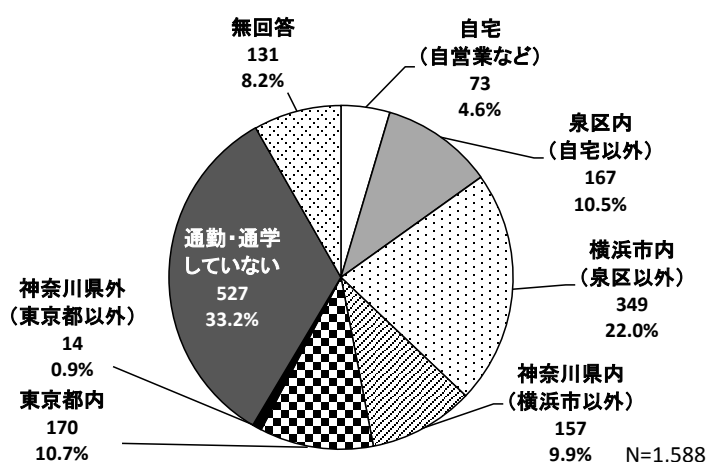


日常の交通行動について

通勤・通学先では、「通勤・通学していない」を除くと「横浜市内（泉区以外）」が最も多い。鉄道利用駅は「立場駅」が最も多く、横浜市営地下鉄線、相模鉄道線の駅が中心。駅までの交通手段は「徒歩」が7割近くを占める

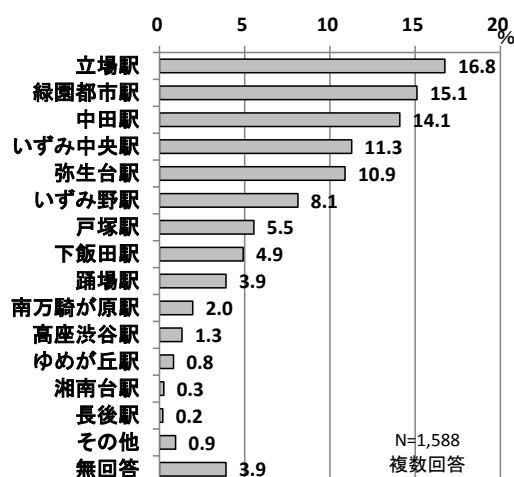
通勤・通学先

- 「通勤・通学していない」が最も多く全体の約3割です。これを除くと、「横浜市内（泉区以外）」が最も多く、次いで「東京都内」、「泉区内（自宅以外）」、「神奈川県内（横浜市以外）」がほぼ並んでいます。



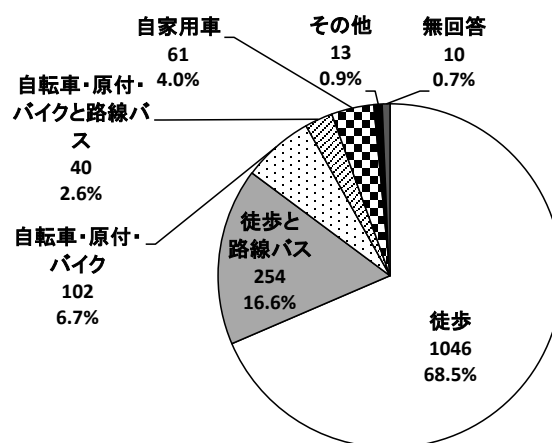
主な鉄道利用駅

- 「立場駅」が最も多く、次いで「緑園都市駅」、「中田駅」、「いずみ中央駅」、「弥生台駅」などの順で、横浜市営地下鉄線、相模鉄道線の駅が中心となっています。



駅までの交通手段

- 「徒歩」が最も多く、7割近くを占めています。



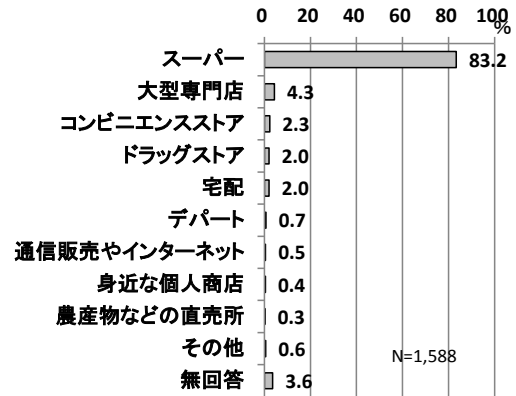
N=1,526

日頃の買い物行動について

食料品や日用品などの日常的な商品を購入する際に利用する店は「スーパー」、店に行く際の主な交通手段は「徒歩」が約4割を占める。日常的に購入する商品以外を購入する場所は「横浜駅周辺」「泉区内」が中心

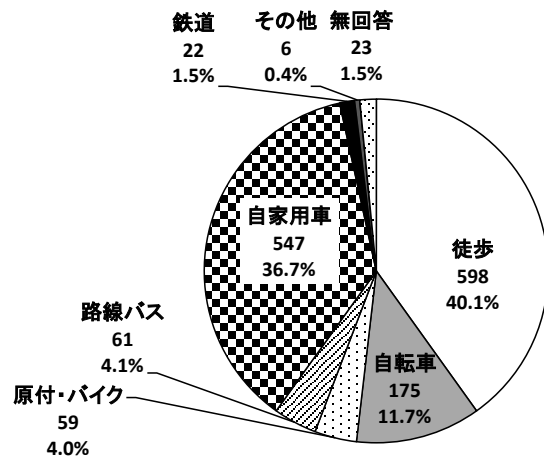
日常的な商品を購入する際に利用する店

- ・「スーパー」が8割を超え、圧倒的多数で回答が集中しています。



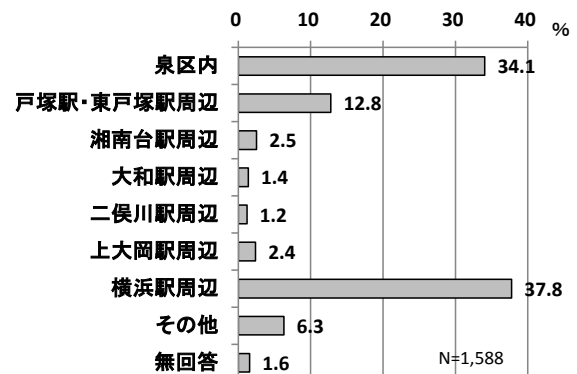
店に行く際の主な交通手段

- ・「徒歩」が最も多く全体の約4割、次いで「自家用車」で、この2つに回答が集中しています。



日常的に購入する商品以外を購入する場所

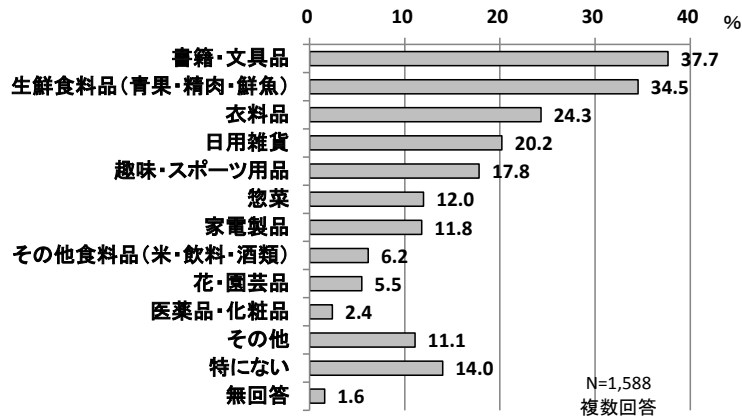
- ・「横浜駅周辺」が最も多く、続いて「泉区内」と、この2つが中心となっています。



泉区にもっとあったら良いと思う店は「書籍・文具品」、泉区内の商業施設・店舗の立地やサービスについて望むのは「品揃えのよい店」

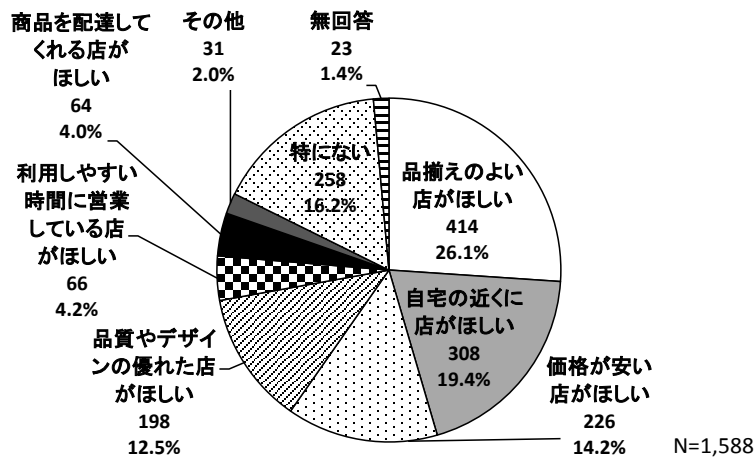
泉区にもっとあったら良いと思う店

- ・「書籍・文具品」を4割弱の人が挙げています。次いで「生鮮食料品（青果・精肉・鮮魚）」が3割以上となっています。



泉区内の商業施設・店舗の立地やサービスについて

- ・「品揃えのよい店がほしい」が最も多く、全体の4分の1強を占めています。次いで「自宅の近くに店がほしい」が2割弱です。

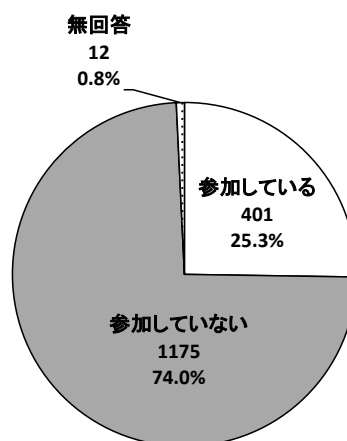


地域での支え合いについて

ボランティアに「参加していない」が4分の3を占める。参加している活動は「自治会・町内会の活動」が突出して多い。参加している人の参加頻度は「1か月に1回程度」

仕事や学業以外で、地域活動に参加者またはボランティアとして参加しているか

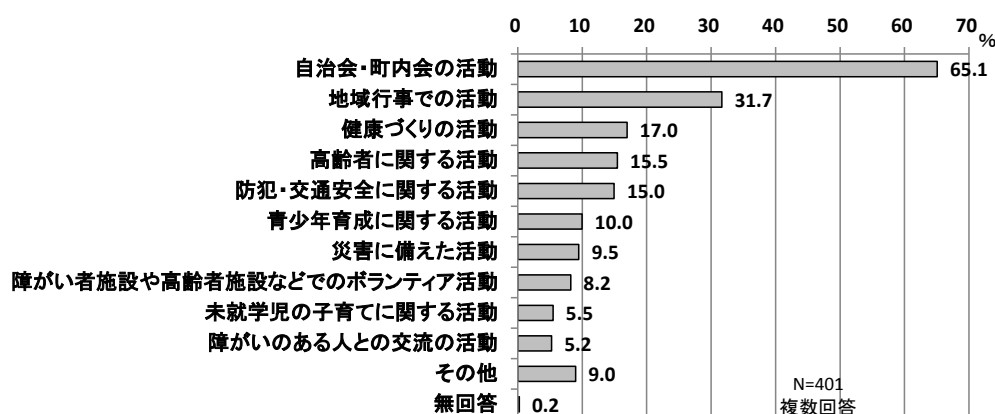
- ・「参加していない」が全体の4分の3近くを占め、「参加している」は4分の1程度にとどまっています。



N=1,588

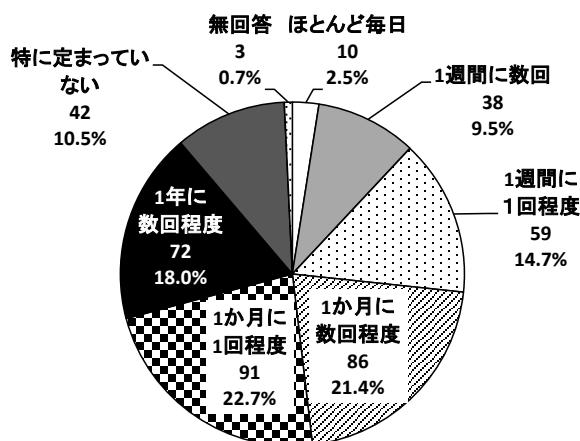
参加している活動

- ・「自治会・町内会の活動」が突出して多くなっています。次いで「地域行事での活動」を3割強が挙げています。



参加の頻度

- ・「1か月に1回程度」が最も多く、「1か月に数回程度」が僅差で続いています。週に数回以上と頻繁な活動をしている人も1割程度存在しています。

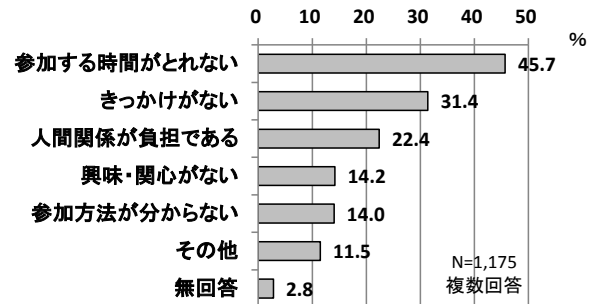


N=401

参加しない理由として半数弱が「参加する時間がとれない」を挙げている。多くの人が地域活動に参加できるようになるためには「参加に必要な情報の提供（活動場所・内容など）」が有効。地域で「身近な支え合いの関係」を築いていくために必要なのは「近所でのあいさつ・声かけ」

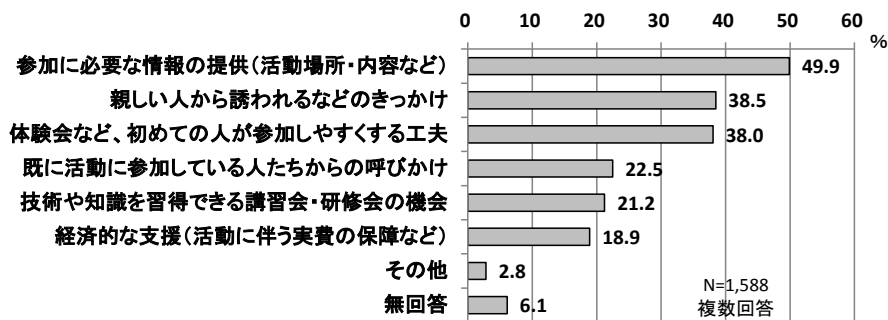
参加していない理由

- ・「参加する時間がとれない」が最も多く、半数近くの人が挙げています。



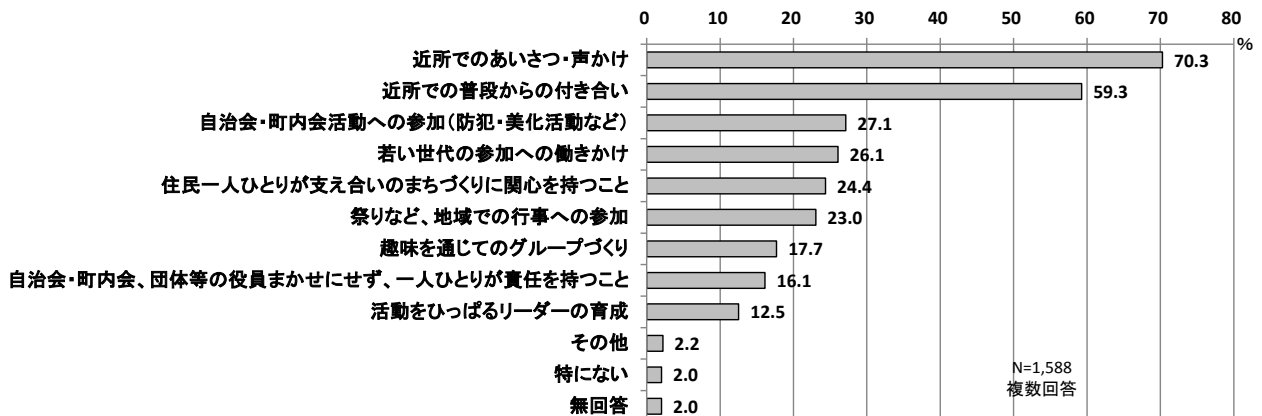
多くの人が地域活動に参加できるようになるために有効な働きかけ

- ・「参加に必要な情報の提供（活動場所・内容など）」が最も多く、ほぼ半数の人が挙げています。次いで「親しい人から誘われるなどのきっかけ」、「体験会など、初めての人が参加しやすくする工夫」が4割弱でほぼ並んでいます。



地域で「身近な支え合いの関係」を築いていくために必要なこと

- ・「近所でのあいさつ・声かけ」が最も多く、7割の人が挙げています。次いで「近所での普段からの付き合い」で、近所での人間関係づくりに関する項目が上位2項目となっています。

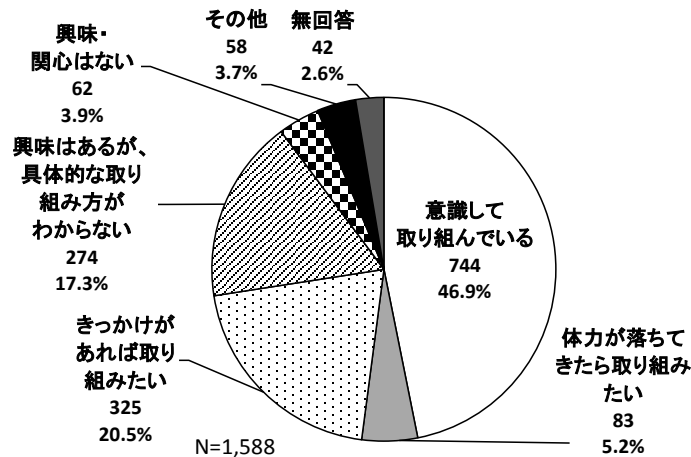


健康づくりについて

半数近くが健康づくりに「意識して取り組んでいる」。健康づくりを進めるうえで、整備されているとよい環境は、「簡単にできる運動メニュー（ウォーキングや体操など）の情報提供」

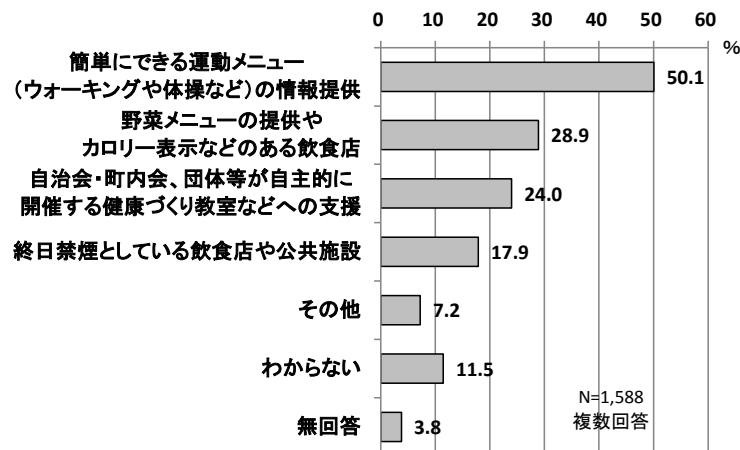
現在、健康づくりに取り組んでいるか

- ・「意識して取り組んでいる」が最も多く、半数近くに達しています。「興味・関心はない」は少数にとどまっています。



健康づくりを進めるうえで、整備されているとよい環境

- ・「簡単にできる運動メニュー（ウォーキングや体操など）の情報提供」が最も多く、約半数の人が挙げています。

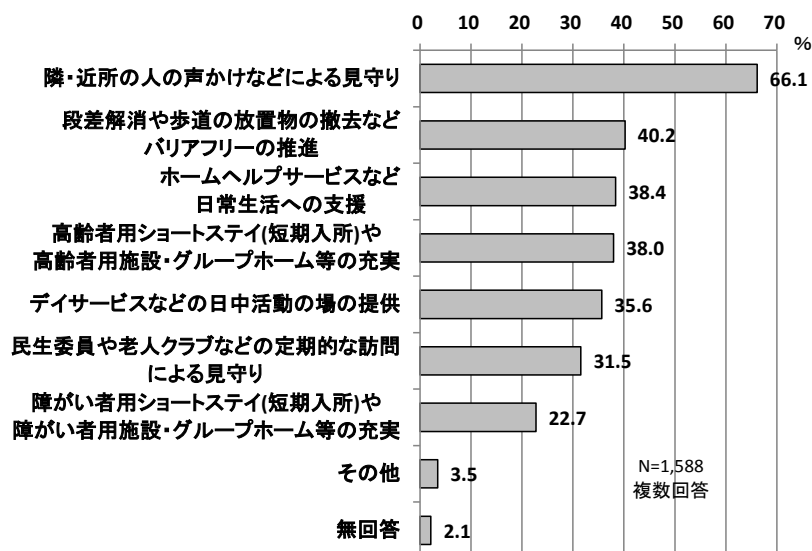


高齢者福祉・障がい者福祉について

誰もが地域で安心して暮らしていくために、力を入れるべきことは「隣・近所の人
の声かけなどによる見守り」

誰もが地域で安心して暮らしていくために、力を入れるべきこと

- ・「隣・近所の人声かけなどによる見守り」が最も多く、7割近くが挙げています。次いで「段差解消や歩道の放置物の撤去などバリアフリーの推進」を4割が挙げています。

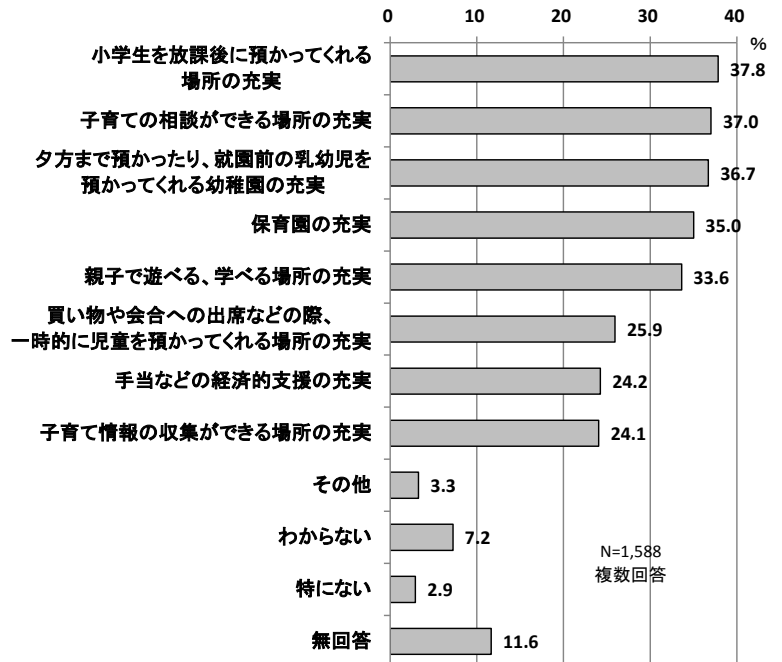


子育て支援について

子育て中の家庭を支援するためには「小学生を放課後に預かってくれる場所の充実」など、要望項目は多い。外出する際に困るのは「歩道の段差などベビーカーの通行が困難」、子どもたちが健やかに成長するために地域が担う役割は「子どもたちのマナーやモラルの育成」、「挨拶や声かけなどの習慣づくり」

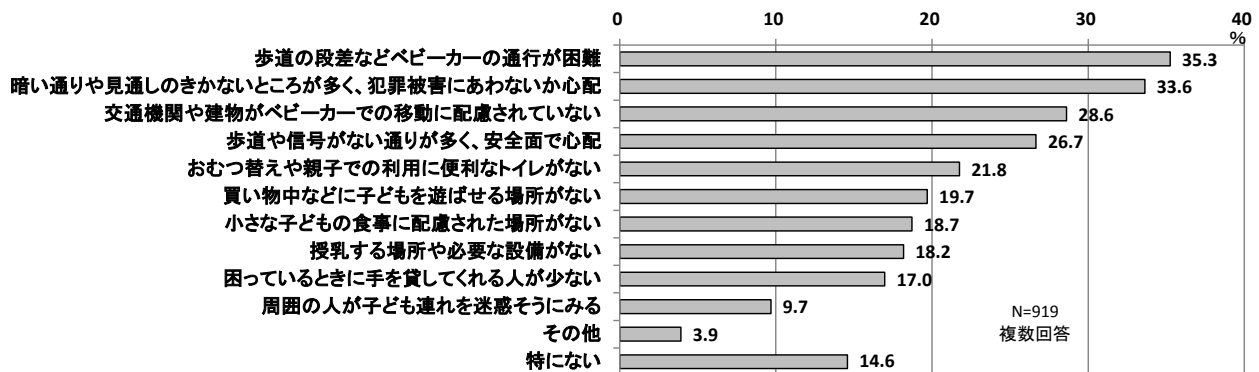
子育て中の家庭を支援するため、力を入れるべきこと

- ・「小学生を放課後に預かってくれる場所の充実」が最も多いが、「子育ての相談ができる場所の充実」、「夕方まで預かったり、就園前の乳幼児を預かってくれる幼稚園の充実」、「保育園の充実」、「親子で遊べる、学べる場所の充実」についても3割以上が挙げており、要望項目は多くなっています。「特にない」は少数にとどまっています。



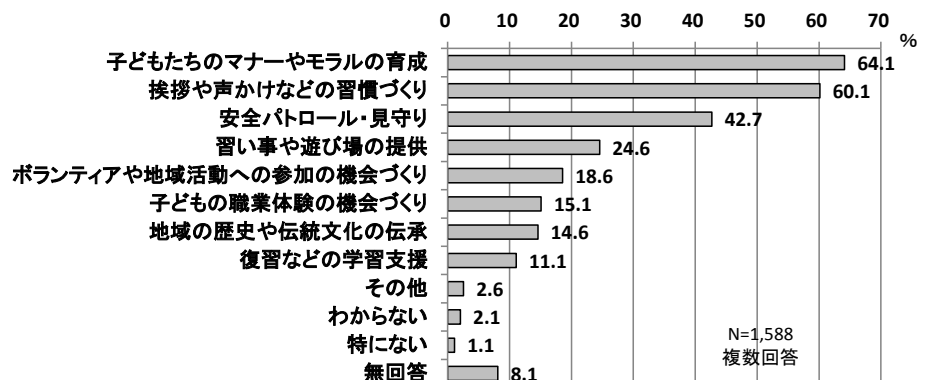
外出する際に、困ることや困ったこと

- ・「歩道の段差などベビーカーの通行が困難」が最も多く、これに「暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪被害にあわないか心配」が続いています。



子どもたちが健やかに成長するために地域が担う役割

- ・「子どもたちのマナーやモラルの育成」、「挨拶や声かけなどの習慣づくり」を6割以上の方が挙げています。

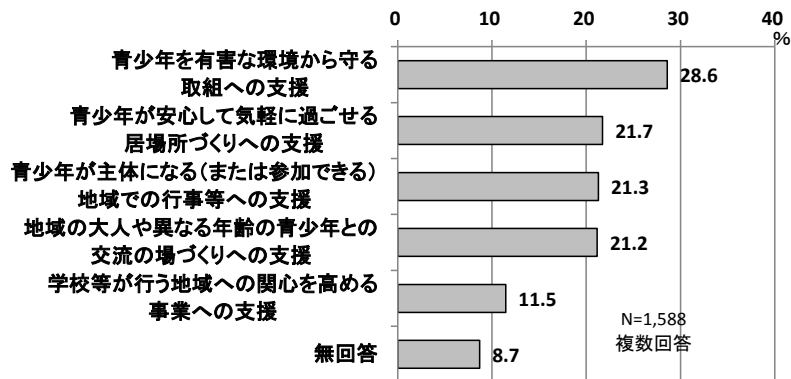


青少年の育成について

青少年の健全育成のために区が特に支援すべきこととしては「青少年を有害な環境から守る取組への支援」を3割弱が挙げている

青少年の健全育成のために、区が特に支援すべきこと

- ・「青少年を有害な環境から守る取組への支援」を3割弱が挙げています。次いで「青少年が安心して気軽に過ごせる居場所づくりへの支援」、「青少年が主体になる（または参加できる）地域での行事等への支援」、「地域の大人や異なる年齢の青少年との交流の場づくりへの支援」がほぼ並んでいます。

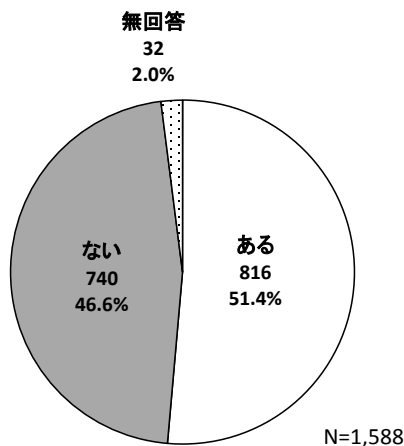


防災の取組について

地域の防災活動に参加したことは「ある」が半数強。参加しない理由は「時間がとれない」から。行政が特に力を入れるべきことは「災害に関する情報提供」と「水・食糧・毛布などの備蓄」、災害に強いまちづくりを進めるために重要なのは「電気・水道などのライフラインの耐震化」

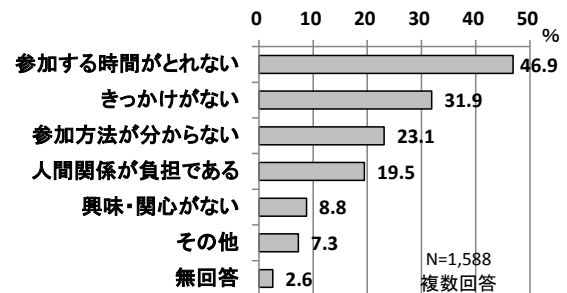
地域の防災活動への参加の有無

- ・「ある」が半数強で、「ない」をわずかに上回っています。



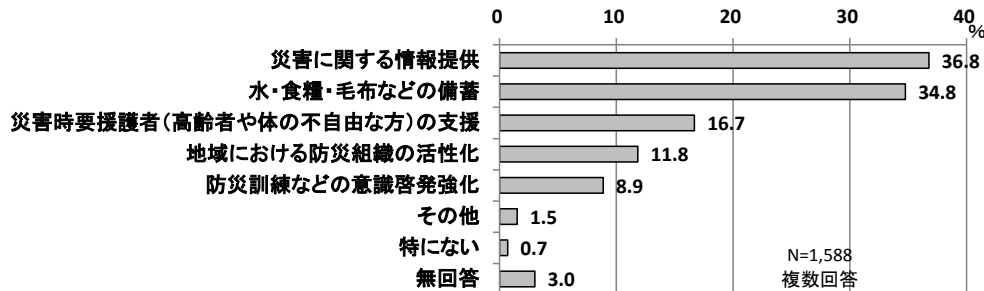
参加しない理由

- ・「参加する時間がとれない」が最も多く、半数弱が挙げています。



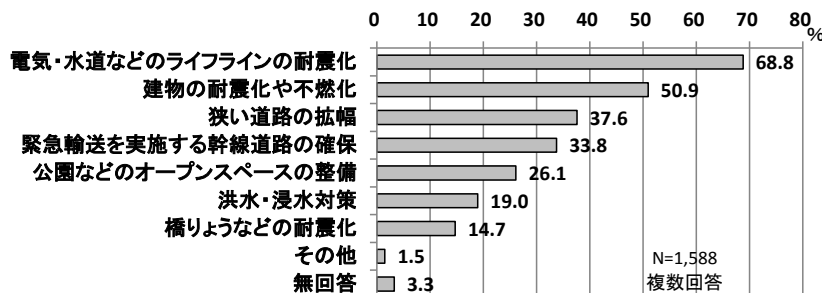
災害対策として、行政が特に力を入れるべきこと

- ・「災害に関する情報提供」、「水・食糧・毛布などの備蓄」の2つに回答は集中しています。



災害に強いまちづくりを進めるため、重要だと考える施策

- ・「電気・水道などのライフラインの耐震化」が最も多く、7割近い人が挙げています。次いで「建物の耐震化や不燃化」が半数強です。

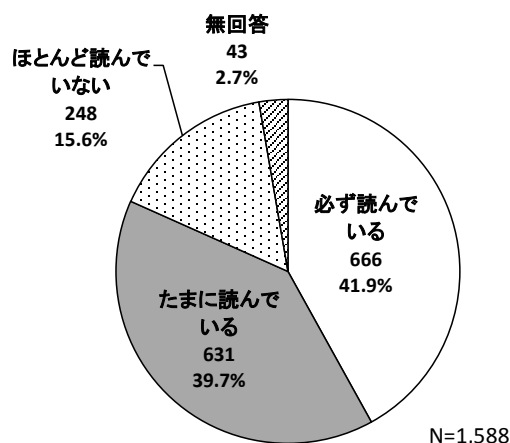


広報・広聴について

『広報よこはま泉区版』は8割以上の方が目を通す機会を持っている。情報を入手している媒体、情報入手に活用したい媒体ともに、「広報よこはま等」が最も多く、次いで「回覧板」となっている。

『広報よこはま泉区版』をどの程度読んでいるか

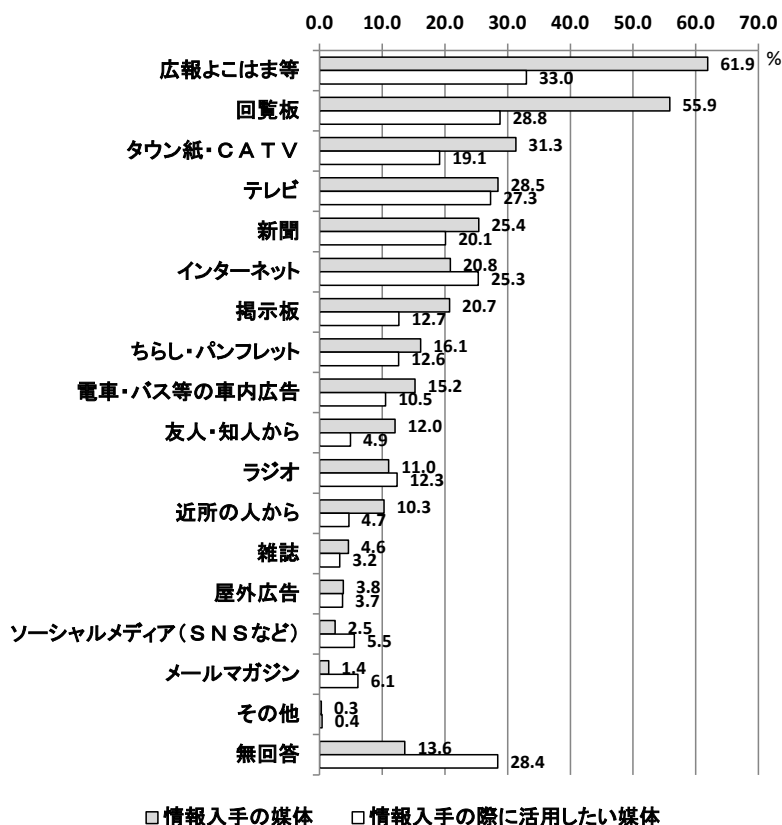
- ・「必ず読んでいる」が最も多く4割強、次いで「たまに読んでいる」が4割弱で、これらを合わせると8割以上の方が広報紙に目を通す機会を持っています。



横浜市や泉区からの情報の入手媒体

横浜市や泉区からの情報を入手する際に、活用したい媒体

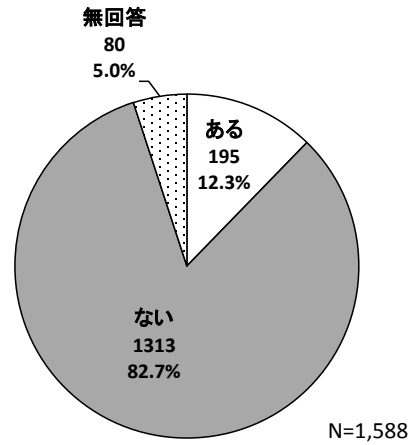
- ・情報を入手している媒体としては、「広報よこはま等」が最も多く、6割以上の方が挙げています。次いで「回覧板」となっています。
- ・活用したい媒体としては、「広報よこはま等」が最も多く、次いで「回覧板」で、上位2項目の順位は現在情報を入手している媒体と同様となっています。



横浜市や泉区に要望を伝えたことは「ない」が8割以上を占める。要望を伝えた手段、今後要望を伝える際に活用したい手段、ともに「電話」が最も多くなっている。

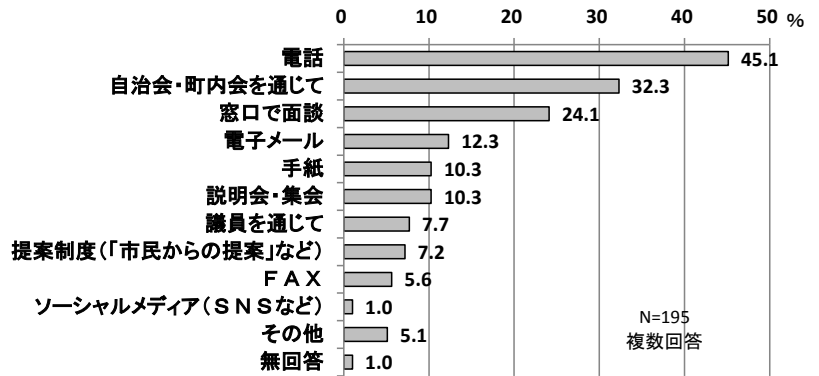
横浜市や泉区に要望を伝えたことの有無

- ・「ない」が8割以上を占め、「ある」を大きく上回っています。



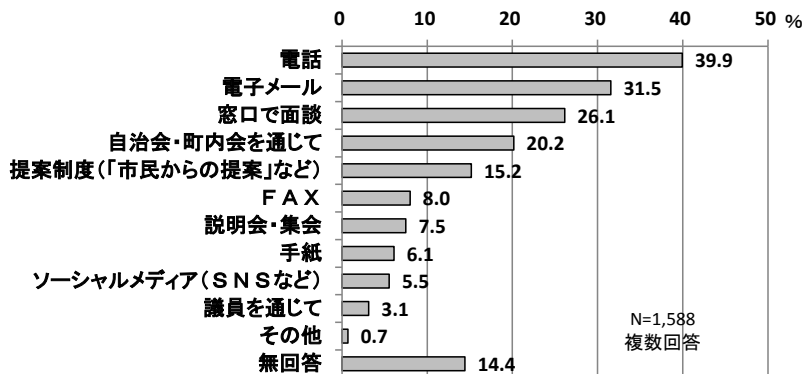
要望を伝えた手段

- ・「電話」が最も多く、次いで「自治会・町内会を通じて」となっています。



横浜市や泉区に要望を伝える際に、活用したい手段

- ・「電話」が最も多く約4割が挙げています。以下「電子メール」、「窓口で面談」などと続き、実際に伝えた手段と比べて、「電子メール」「提案制度」「FAX」の順位が高くなっています。



泉区政について

泉区政についての意見、要望、提案

- ・泉区についての意見や提案としては、「道路」が最も多く、以下、「区民利用施設（公園含む）」、「交通」、「防犯」、「自然環境・農地・河川」、「子育て・教育」、「高齢者福祉」、「地域活動・地縁等」、「土地利用・開発」、「買い物」、「区役所・窓口」、「区政方針・税金等」、「騒音・悪臭等」などの順となっています。

